

みんなで実現！
ごみマイナス40%

町田市役所からのお知らせ

ごみ資源化施設建設 NEWS

Vol.5

発行日：2013年3月20日
発行：町田市環境資源部
編集：環境政策課
問合せ：循環型施設整備課
住所：町田市森野 2-2-22
電話：042-722-3111
(内 3721~3724)

広報紙「ごみ資源化施設建設 NEWS」では、2020年度からの稼働を予定している新たな「ごみの資源化施設」に関する情報をみなさまにお届けします。

新たなごみの資源化施設の建設地について



現在、「施設建設地周辺説明会」の準備を進めていますので、ご参加ください。日程等の詳細は、今後の「広報まちだ」および「町田市ホームページ」でお知らせします。

町田リサイクル文化センターに熱回収施設等を、他の3か所には資源ごみ処理施設の建設を予定しています。



誰もがあこがれる都市を目指して

～町田市資源循環型施設周辺まちづくり協議会～

新たなごみの資源化施設周辺のまちづくりを、全市的な視点で検討する「町田市資源循環型施設周辺まちづくり協議会」を2013年2月1日に開催しました。

今後、みなさまからのご意見・ご要望をもとに施設周辺のまちづくりについて検討を進めていきます。

※安全で安心な施設を目指し、建設事業の実施及び稼働後の体制について、建設地周辺にお住まいのみなさまとともに検討を行う「(仮称)資源化施設地区協議会」(相原地区・上小山田西部地区・リサイクル文化センター周辺地区)もあわせて設置します。

環境について、勉強できる場所がほしいわ

お買い物に便利なバスが通るといいのだけど…

近くに遊べる公園があるといいなあ

野山を走り回りたいな!



こんなにあります！バイオガス化施設

生ごみや下水道汚泥などの処理を目的としたバイオガス化施設は全国で49か所あり、し尿処理での消化槽を含めると全国で約540か所もあります。メタン発酵によるバイオガスを取り出す技術は、1950年代後半から国内では広く普及しており、安全性も確立しています。

全国のバイオガス化施設一覧(49か所※)
※生ごみを受け入れている施設(建設中含む)



新たなごみの資源化施設 Q & A —資源ごみ処理施設の安全編—

Q 有害ごみ（電池など）の貯留を原因とした土壌汚染は心配ないの？

A 電池や蛍光灯などの有害ごみは、適正に資源化できる業者に引き渡すまでドラム缶などに入れて、コンクリート製の貯留場所に保管するので、液漏れなどによる土壌汚染の心配はありません。

Q 収集車は1日にどれくらい通るの？

A 今後検討する、収集方法やエリアの切り分けなどによって収集車による搬入台数は変わりますが、各施設 10 台程度を想定しています。



Q 施設の耐震性は大丈夫なの？

A 施設建設では、建築基準法等で定められた構造基準（震度 6 強～7 程度で崩壊しない）を上回る耐震強度で、構造設計を行います。
※ 警察、消防、病院施設などの重要施設と同程度の耐震性能とします。

詳細は 3月21日発行の「ECO まちだ増刊号」をご覧ください。

今日からはじめよう ごみの減量・資源化

環境負荷を最小限にし、より良い環境を次の世代に引き継いでいくため、新たなごみの資源化施設は環境負荷をできる限り小さくなるようにします。そのためには、みなさまの普段の生活で、ごみの減量や資源化などいっそうのご協力をお願いします。

